

第50回 陸上競技実施要項

1. 主催 一般財団法人全日本ろうあ連盟
2. 共催 一般財団法人北海道陸上競技協会
3. 期日 2022年9月17日(土)・18日(日)
4. 会場 丸山陸上競技場
5. 競技
 - ・日本陸連登録選手の部 男・女(1部・2部)
 - ・日本陸連未登録選手の部 男・女(1部・2部)

※日本陸連登録選手については、記録は公認される。未登録選手については公認されない。
6. 競技規則
大会開催年度の(公益財団)日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によるものとする。
7. 種目
1部(39歳以下)と2部(40歳以上)に区別する。
 - (1) 1部男子の部 (21種目)
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、110mH(1.067m)、400mH(91.4cm)、3000mSC(91.4cm)、4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(7.26kg)、円盤投(2kg)、ハンマー投(7.26kg)、やり投(800g)、十種競技
 - (2) 1部女子の部 (21種目)
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、100mH(84.0cm)、400mH(76.2cm)、3000mSC(76.2cm)、4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4kg)、円盤投(1kg)、ハンマー投(4kg)、やり投(600g)、七種競技
 - (3) 2部男子の部(16種目)
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、4×100mR、4×400mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(7.26kg)、円盤投(2kg)、やり投(800g)
 - (4) 2部女子の部(10種目)
100m、200m、400m、1500m、5000m、4×100mR、走高跳、走幅跳、砲丸投(4kg)、やり投(600g)
8. 競技実施日
 - (1) 1日目
100m、400m、1500m、1000m、110mH、4×100mR、棒高跳、三段跳、円盤投、やり投
十種競技前半(100m、走幅跳、砲丸投、走高跳、400m)
七種競技前半(100mH、走高跳、砲丸投、200m)
 - (2) 2日目
200m、800m、5000m、400mH、3000mSC、4×400mR、走高跳、走幅跳、砲丸投、ハンマ

一投

十種競技後半（110mH、円盤投、棒高跳、やり投、1500m）

七種競技後半（走幅跳、やり投、800m）

※参加人数や競技スケジュール状況により、1日開催する場合にもあります。

但し、混成競技（十種競技、七種競技）実施するには2日開催する。

9. 出場資格

- (1) 日本陸連登録選手の部に出場する選手は、登録手続きを各都道府県（郡市陸協・学連・高体連）で行い、2022年度登録ナンバーを記入して申し込むこと。
- (2) 男女とも、1部は39歳以下、2部は40歳以上とする。但し、40歳以上でも1部に出場することができる。
- (3) 1人当たりの出場種目はリレーを除いて2種目以内とする。
- (4) 盲ろう選手の参加は可能とする。但し、競技種目によって不可能になる場合があるので、主催へ事前に申し合わせをすること。

10. 競技方法

- (1) 個人及び都道府県対抗(男女別総合で1部のみ)とする。
- (2) 団体対抗の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
得点について、1位～8位内に同じ都道府県の選手が複数入っている場合は、上位の2人までを得点対象とし3人目以降は無得点とする。

11. 表彰

- (1) 表彰式は各部門で種目ごとにレース終了後行うので、第3位までの入賞者は、レース後すぐ本部表彰控所へ集合すること。
- (2) 優秀な記録を出した選手には、最優秀選手としてトロフィー又は盾を授与する。

12. 参加申込み

出場する場合、陸上個票に1種目毎に氏名・加盟団体名・自己の最近記録・日本陸連登録選手は2022年度登録ナンバーを9の(1)で登録した登録団体名を明記し、参加申込書(大会指定用紙)に添えて申し込む。

13. 注意事項

- (1) 競技場への立ち入り
競技場へは、競技役員、補助員、出場中の選手、実行委員、手話通訳者及び許可を得た報道関係者以外は立ち入ることができない。
- (2) 更衣室について
貴重品・衣類の盗難防止のため、更衣室ではロッカーを使用してもよいが、貴重品の管理は各自で責任を持つこと。
- (3) 練習について
競技役員の指示に従って行う。
- (4) 招集について
① 招集の開始及び完了の時刻は下図のとおりとする。

競技の種目	招集開始時間	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻 30 分前	競技開始時刻 20 分前
フィールド競技	競技開始時刻 40 分前	競技開始時刻 30 分前

- ② 招集の点呼を済ませた人は、招集所で待機しなければならない。代人による点呼は認めない。
- ③ 招集完了時刻に遅れた選手及び招集完了時に招集場所にいない選手は、棄権したものとみなす。
- ④ 招集場所から競技場へ移動、または競技場から退場するとき、係員が案内するので、係員の指示に従う。
- ⑤ 2種目同時に出場する人は、その旨本人(代人でも可)が招集終了時まで申し出る。
- ⑥ リレー出場チームは、**招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を招集所の競技者係に提出する。**

(5) 入場

競技者係に**アスリートビブス**の確認を受けた後、係員の誘導で競技場に入る。

(6) 組み分け

参加人数によっては日本陸連登録選手と未登録選手と一緒に競技することもある。

(7) 不正スタート

トラック種目で1回目以降の不正スタートをした競技者が失格となる。

(8) リレーチーム編成

1チーム6名までエントリーできる。

リレーエントリー人数不足(3名以下)でチームに出場出来ない場合は各ブロックチームでエントリー可能とする(但し団体得点は無効)

(9) 走路順及び試技順

トラック競技の走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順序とする。予選をしたトラック競技の決勝の走路順は主催者が公正に抽選し、その結果は予選終了後、招集所に掲示する。

(10) 10000m 競技打ち切り

運営時間の関係で60分競技を打ち切り致します。

(11) **棒高跳、走高跳、最初のバー高さ**とバーの上げ方

最初のバー高さ

① 棒高跳・男子：2m00、女子：1m90

② 走高跳・男子：1m50、女子：1m10

監督主将会議で高さを決定する。

決勝で3cmずつ上げる。

1位決定の際は2cmとする。

(12) 用 具

① 砲丸投の砲丸は、男子は7.26kg、女子は4kgを使用する。

② 円盤投の円盤は、男子は2kgを使用する。

③ やり投の槍は、男子は800g、女子は600gを使用する。

④ スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、トラック及びフィールドは9mm以下、走高跳及び槍投については12mm以下とする。

⑤ 投てき用具については競技場備え付けの用具を使用する。(持ち込みは不可)

(13) 競技服装

- ① 競技を行うときは競技服装(ユニフォーム)を着用する。また、リレーについては、同一のユニフォームを着用する。**ブロックチームは各チームユニフォームの着用を可とする。**
- ② **アスリートビブス**は、実行委員会が交付したものを使用し、競技服装の上衣の胸部及び背部に安全ピンで留める。ただし、跳躍競技に出場する者は、胸部又は背部のいずれか一方でよい。
- ③ 長距離のナンバーカードは胸部と腰ナンバーをレーン順番号に付ける。
- ④ トレーニング中又は競技中に、一般に認められた団体の名称以外の広告を付けたものを競技場内に持込むことは、(公益財団)日本陸上競技連盟競技規則に抵触するので厳に慎む。

14. 本要項の改正

- ・ 一部改正 2004年2月22日 第6回全国委員会
- ・ 一部改正 2007年3月9日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2010年2月7日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2012年2月5日 第3回本委員会
- ・ 一部改正 2017年2月5日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2018年2月9日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2020年1月31日 第3回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2021年1月30日 第2回スポーツ委員会
- ・ 一部改正 2022年5月17日 臨時スポーツ委員会